

一、お知らせ

我孫子オーディオファンクラブ主催の

「ミニコンサート」実施決定

従来より行われてきた当会主催のコンサートについては、当会PRの一助として本年度も予算の許す限り実施するべく会場確保と出演者との交渉に尽力頂いたお陰で来る十月十二日(日)手賀沼公園内のアピスタ・ホール(大)にて開催の運びとなりました。詳細は追ってご連絡いたしますが、事前の準備や当日の会場運営に当たっては、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

アンケートの実施についての御礼

AAFCのより充実化のために先にアンケートを実施いたしました。多くの方々より貴重なご意見を頂き有り難うございました。

実行可能なものから逐次実行して行く為に現在検討中です。ご期待下さい。

編集部

二、私とオーディオ

「音との出会い」

中学生になると早々に鉱石ラジオ工作。

きっかけは思い出せない。スパイダーコイル、バリコン、鉱石。コンセントにコンデンサーを介して電波を引く。

やった！聴える。終夜クリスタルイヤホンの柔らかい音をすませていた。

その夏、配線図頼りに4球高1に挑戦するが鳴らない。近所の知合いに見せたところ、こりゃ駄目だ、真空管足音は裏から見るものだよ！ 当時は実体配線図なるものは未だ無かったのです。

5級スピーカーはお手の物、爾来高校卒業まで友人知人に組立てを頼まれ、回路は頭に入っており次々製作して喜ばれた。

何十年振りであった友に、あのラジオで学んだ旺文社蛭雪アワーのお陰で、志望大学に入れたよと言われ、嬉しかった。

旺文社ラジオ講座と言えばテーマ曲「大学祝典序曲」を思い出しますね。

「ハイファイ時代突入、友人との出会い」

高校に入ると放送部の部屋に入り浸り。

学校から予算を獲得、秋葉原にて12インチパイオニアSPと大型エンクロージャーを手、仲間でガンガン鳴らしては「コンサートを開いた。新作アンプが出来た、SPを替えた」といつかは友人宅を行ったり来たり。

学校の帰り道に多くの友に音を聴いて貰うのも愉しみていた。あれが音と音楽好きのきっかけになったよ。最近のクラス会で話しかけられます。

レコードプレーヤーはアカイス、プリモのクリスタルピックアップ。アンプは2S

6V6p、6V6p、2A3s、球を変え、回路を変えて作っては壊したものです。

SPはPE8B、PB、8PM、6PF、最後はナショナル101+コーラルH220の2WA。箱は隣の大工さん製作のバスレフ&ホーン。時代はE

II時代のはしり、グレースのオイルダンブアム+ES、それを自作2S7のプリを付けて鳴らす。高音の艶と伸びはクリスタルと格段の差があった。

最初に買った甲はフリッツチャイのモルダウ次いでFはセルの運命&未完成、ギトリスのメンコン、ワルターの第9等。当時は高価で、数ヶ月に1枚買えば御の字でした。2A5の立体音楽堂、E2スタートもこの頃。

この頃の友人の一人は後日小児科開業医になりワーフェデルを3000で鳴らしているが忙しくて聴く時間がないと嘆いている。一人は生徒会長にもなった元氣者ですが、ようとして行方が判らない。

一人は著名な写真家になった。ラ技や芸文社ムックに投稿した記事を見て高卒後6年ぶりに訪ね旧交を温めたが惜しくも天逝してしまつた。江川さんと親交があり、自作3000

Sと電球を介し極端に電圧下げたモーター、スタックスのコンデンサーカートリッジ&コンデンサーSPは全て半田で直結。澄んだ音色は未だに忘れられない。

「音との出会いと徳島時代の友人」

大学時代は講義そっちのけで山登り、会社に

入社後の数年もオーディオとは疎遠に。

やがて、オイルショックの頃、徳島に転勤

「E」鳴らしに自信ありと言つオーディオ店で「E」を聴いて血が騒ぎ、一式をEイヤと買つ羽目に。D30にコンデンサーツイーターは繋がりが良く、エラックのEカートリッジは素直で

気に入る大満足。ところがツイーターをEに替え、更に蜂の巣の中音を入れ3ウエイにし、カートリッジをオルトホンのEに、アンプをアキコフェーズのセパレートに替えたところ

で鳴らし込みの難しさを知る。オーディオ店で友人が出来る。

歯医者さんのE、入れ歯の型をとるセメントでネットワークのコイルを固めてかつちりした音に仕上げた腕前。部屋の壁にアル

ティック8cmを詰め込んだ文房具屋さん、休みになると大音量でチャイコフスキーをEでドカンと鳴らし、離れた我が社宅でもその音が良く聴こえた銀行員。友人達に拙宅の装置を聴いて貰ったところ、蜂の巣ホーンがよく鳴るのは、2008年後の定年の頃です

ねと、オーディオ店と同じ事を言つて。皆、今どうしているだろうか。

「現用装置など」

マルチチャンネル3ウエイ。SPは2A5、375・537・500・D130(バックロードに格納)味付けにダイナベクターを使用。アンプは2A3s、300Bp、マッキン250。OTランス

ポートはパイオニアのベルテック改良型。DAC+バッファアンプはベルテック。デンオンモーターにサエクアーム、カートリッジはE数本とコンデンサー型。ケーブルは会員作成の虚実変換型及びE氏作成による物。他にベルテック。チャンデバはベリンガー。何とか分厚い音に温もりと切れ味の良い音で

鳴って欲しい。ところで使用SPは設計後6年

の20年の物だけに、所謂正しい音よりは好ましい音色を求めて微調整を繰り返している。時には気持ち良く鳴って自分の何かと共鳴するのですが翌日聴くとがっかりしたりで、難しいものです。ジャンルはベーターベン、

マラー、ブルックナー、ワグナーのオーケストラの他ジャズ中心ですが、2年前まで入会後は格段に幅が広がり歌舞伎からケチャまで様々。

「いい音いい音楽 いい仲間」

五味康祐の「いい音、いい音楽」・・・音楽・オーディオ/求道者の遺稿・・・と言つ著作があります

が、更に「いい仲間」を付け加えた。過去に出会った仲間も素晴らしく、聴く喜びを共にした。

今のその仲間のソフト、ハード共にその造詣の深さと情熱には何時も感心させられる。

しかも揃って益者三友、すなわち真諒、多聞の方ばかりで多士多才、随分助けて頂き有難くも誇りに思います。

「オーディオを続けていて良かった」

脇田 隆夫

写真はリスニング・ルームにて

脇田様と現用の再生装置

